



『JAL 工場見学～ SKY MUSEUM ～』

約 100 分のツアーで①～⑦を
お楽しみいただけます。

① 仕事紹介エリア

フライトを支える5つの代表的な業種を紹介。仕事内容や日常業務で重要な役割を果たす「7つ道具」の説明、実際に体験できるコンテンツ、クイズなども。



② 新商品・サービス紹介エリア

タッチパネル式の60インチ画面で、機内食や全クラスの座席など最新機内サービスをご覧いただけるほか、実際の座席を展示。ビジネスクラスシートを体感できます。

③ アーカイブズエリア

1951年の会社設立以降、世界の空を切り開いてきたJALの史料を展示。幅50mの大年表のほか、歴代の制服や航空機のモデルブレーンタワーも。デジタルアーカイブズでは、写真やテレビCMなどをタッチパネルで閲覧可能。



④ 制服体験エリア

お子さまから大人まで制服を着て、JALスタッフの気分を味わえます。航空機の大型パネルやコックピット模型を背景に、制服姿で記念撮影をどうぞ。

⑤ 顔マッピング

最新技術を用いた大型画面上で、一瞬のうちにさまざまな職種のJALスタッフになることができます。どのスタッフになるのかはお楽しみ。



⑥ 航空教室



航空機が飛ぶ仕組みや羽田空港について学習。説明するスタッフは、運航乗務員や整備士、客室乗務員、空港スタッフのOB・OGたち。それぞれの経験を生かしてお話します。

⑦ 格納庫見学

誘導路に面した2つの格納庫で、実際に整備士が作業している姿や本物の飛行機を間近で見学。視界に収まりきらないくらい巨大な機体は迫力満点です。

■ JAL 工場見学～ SKY MUSEUM ～は事前予約制です。お申し込みなど詳細は右記をご覧ください。 www.jal.co.jp/kengaku/

REPORT

東大とコラボして、中高生向けワークショップを開催！



01. 特別に、生徒たちは実際の翼に触れて形状を体感。02. 翼作成コンテンツでは、実際に模型を作って風洞で風の流れを確認する。



JALは、東京大学生産技術研究所次世代育成オフィスと協働し、中高生のための「飛行機ワークショップ2016」を開催しました（中学生クラス：9月24・25日、高校生クラス：10月29・30日）。両クラスともに、1日目はJALの羽田整備工場の教室で飛行機について学び、格納庫で本物の飛行機を見学。2日目は場所を東京大学生産技術研究所に移して、同研究所の加藤千幸教授による講義と、翼作成コンテストが行われました。これは生徒がグループに分かれて、独自の翼をコンピューター上で設計し、特殊な材料でその翼を作成。風洞で最も大きな揚力を発生させたグループが優勝という実践的なものです。生徒たちはグループワークや飛行機の見学を通じて次第に打ち解け、翼作成コンテストでは結果に一喜一憂するなど、2日間の体験を通じて飛行機が飛ぶ仕組みを学んでいました。

今後もJALと東京大学はこのようなワークショップを通じ、将来、航空技術に携わる人材が生まれることを期待しています。

空の仕事とJALを知っていただく取り組み 『JAL 工場見学～ SKY MUSEUM ～』

航空業界とJALについて多くの方にご理解いただくために、JALは、小学生以上のお子さまから大人まで楽しめる体験型ミュージアムを設立し、どなたでも見学できるようにしています。今回は、その詳しい内容をご紹介します。



リニューアルして より深く理解できる施設に

羽田空港に隣接するJALメインテナンスセンターでは、航空会社の仕事を学んだり、飛行機の整備作業を間近で見られる工場見学を毎日開催しています。会社創立後間もない1950年代半ばから実施しており、2013年には、『JAL工場見学～SKY MUSEUM～』として大幅拡張。小学生以上のお子さまから大人まで楽しめる体験型施設として無料で参加可能です。特に、次世代を担うお子さまに、大きく夢を育み、豊かな未来を想像してほしいという願いを込め、飛行機や空港の仕組みの解説など航空会社だからこそできる内容をご用意しています。さらに年間12万人が来場する当施設は、今年10月に、見学施設を一部リニューアル。より空の仕事やJALへの理解を深めることができ、リピーターの方も含めたご来場の方々が楽しめる施設に生まれ変わりました。

例えば、最近では海外からのお客様のご来場が増えたため、多くの方によりお楽しみいただけるよう、多言語に対応しました。展示エリアの仕事紹介ブースを英語・中国語でもご覧になれるようQRコードを設置。スマートフォンなどの端末で読み込むと、目の前にある展示の英語版・中国語版を見ることが出来ます。また、JALグループの今を知っていただくために、



英語版・中国語版のQRコード。スマートフォンやタブレットで読み込み、海外のお客様も楽しめる工夫。

大年表に2013年以降の新しい歴史が刻まれました。JALの創成期から現在に至るまでの軌跡をまとめたいです。加えて、「CHALLENGE JAL」と題し、JALグループの今まで、そしてこれからの挑戦をご紹介します。定時性世界1位※の取り組み、オリンピック・パラリンピックの支援活動や空のエコ活動など、積み重ねてきた挑戦の数々を展示し、今のJALをより理解できるようにしました。

この工場見学を通して、ご来場の方々に、ご自身の五感を大いに使い、空の素晴らしいことに触れていただきたいと考えています。展示エリアでは、JALの歴史やスタッフの仕事に触れることで空の仕事に興味をもってもらえるように、見学ツアー内の航空教室では飛行機に興味をもってもらえるように、そして格納庫では、ダイナミックな機体と繊細な整備を間近に見ることで、壮大さと安全性に懸ける想いを感じてもらえるように……。今後もより多様なお客様にお楽しみいただけるよう、工場見学は進化を続け、空の未来を考えるきっかけづくりを続けてまいります。